

わ げ ん あ い ご

和顔愛語



医療法人 真生会
真生会富山病院
SHINSEIKAI TOYAMA HOSPITAL

2018
vol.26

これまでもこれからも、
皆様の笑顔と共に

真生会富山病院



創立30周年を迎えて

院長

真鍋 恭弘 まなべ やすひろ

利他の精神

平成30年、医療法人真生会は創立30周年を迎えました。これもひとえに地域の皆様のご支援、ご指導の賜と心より感謝申し上げます。

昭和63年にスタートした真生会富山病院の夕方外来は、夜9時まで患者を受け付けていました。仕事を休まずに受診できるようにという利他の精神からの設定でした。また、当時から行っていた往診は、平成12年に病院として99床

に増床してからも、全科往診対応を継続しています。「宅診より往診」、病む人のもとに向いてこそ医療という、仏法精神の発露です。そして、すべての職員が励む和顔愛語は、少しでも安心・満足をお届けたいという布施の精神です。

これからの真生会

ります。30年という節目に安住せず、それ以降も、大きく変わっていく企業だけが存続できるという説です。変えてはならないもの（理念）と変えねばならないもの（現在の自分）を見極め、これからもこの地域で貢献できる医療法人として努力してゆく所存です。どうぞよろしく願いたします。



「企業30年説」というものがあ

真生会富山病院 理念

仏法に説かれている「自利利他」の精神に基づいて、安心と満足の医療をめざします。

患者さん本位の医療を实践

院長顧問 駒井 理 こまい おさむ

真生会が富山病院として発足したのは昭和63年。私が真生会に赴任したのは平成7年で、その時はベッド数19床のクリニックでした。平成12年に99床の病院となりましたが、その後、外来患者数も職員数も増加の一途で、今では中小病院とは言えないほどの数になりました。これだけ多くの患者数になったのには様々な要因があったと思いますが、一番は、真生会の理念である自利利他の精神が、医療本来の目的と同じ方向に向いていたこと。そして、その理念に

沿って職員が丸となって患者さん本位の医療の実践にとりくみ、多くの患者さんの賛同を得られたことのように思います。よい医療は、個人の努力で実現できることではありません。多くの人の協力があって可能なことです。現在は少子高齢化、超高齢社会といわれ、医療の分野でも様々な課題がありますが、どのような世の中になったとしても「We（私たち）」というロゴマークが表しているように、全職員が協力し、そして病院の外の方々とも連携して、医療のあるべき姿を見つめながら進んでゆきたいと思えます。



真生会富山病院のロゴマーク。

利他の心で安心・満足の看護を

看護部長 加藤 礼 かとう あや



記念すべき真生会創立30周年にあたり、ご挨拶を申し上げます。当時、看護学生だった私は、昭和63年に完成した真生会富山病院でアルバイトをしていました。受付業務を行う看護師の先輩たちは、患者さんが来院されると、一斉に立って挨拶をしていました。患者さんと職員の間笑顔があふれたとき、私は看護師の対応に、たいへん気高いものを感じ、ますます看護師への憧れを強くしたことを鮮明に記憶しています。

現在、在籍している看護師は173人です。その中には患者や家族として訪れ、かつての私のように真生会の理念に共感し、利他の心で安心・満足の看護をしたいという思いを叶えた人が多いと思います。これまで支えてくださった地域の皆様に感謝し、看護部はこれからも地域の皆様に、「またお世話になりたい」と思っていただける看護をお届けできるよう努力してまいります。

30周年記念座談会

昭和63年の医院オープン、そして平成7年のクリニック棟オープンの真生会を知る4名の職員が集まり、座談会を行いました。



渡部 私は昭和63年11月の開院準備のときからこちらに来ていました。オープン初日に撮った記念写真(6ページ)を見ると駐車場が砂利でした。とても懐かしさを感じますね。

成瀬 私は平成7年からです。富山の病院で就職先を探していて、電話帳に載っている病院を順番にあたっていました。真生会に電話をしたところ面接を受けることになり、今日に至っています。

◆平成5年に二代目の院長である中野一郎先生が赴任しました。患者さんが増え、平成7年にはクリニック棟(現在、健診センターなどがある建物)を建てることになったんですね。

真野 クリニック棟オープン前日は深夜まで準備をしました。オープン当日の朝、阪神・淡路大震災があり、忘れることができません。オープン初日は本当に多くの患者さんが来られ、ここから爆発的に患者さんが増えたという印象があります。この勢いは止まらず今日まで続いています。



(次のページに続く)

成瀬 真野先生が赴任された頃の診察券番号は、まだ300番ほどだったそうですね。私が入職した平成7年は8千番台でした。それが今では18万番を超えているのに驚きます。

◆真生会富山医院は昭和63年に開院しました。皆さんはいつから真生会で働いているのでしょうか。

真野 平成4年頃から真生会に調剤の手伝いに来ました。その頃はまだ現射水消防署前の道路がありませんでした。

◆寺井さんは平成26年に結成された真友会(勤続20年以上の真生会職員が集う会)の第一期メンバーですね。ということは、平成5年からでしょうか。

寺井 実は平成3年からアルバイトでお世話になっていました。受

◆多くの患者さんに支持していただけ、有難いですね。患者さんが増え、一方で職員は忙しくなったのでしょうか。当時の様子を聞かせてください。

した。私やぐらを借りて軽トラックで運んだこともあり、大掛かりな企画でした。

中野先生は挨拶を徹底された方でもありました。当時は朝礼が毎日あり、朝礼をする部屋には「和顔愛語(優しい笑顔とことば)」の額が掲げられていました。職員旅行(7ページに写真)では旅行先の仲居さんよりも真生会職員の方が大きな声で元気に挨拶していましたよ(笑)

渡部 職員同士が廊下ですれ違ったときに「おつかれさます」と挨拶を交わす習慣は、当時から続いている良い伝統だと思います。

真野 中野先生は、医療レベルもおもてなしの精神も、常に一流を目指していました。長い待ち時間も問題にされ、厳しかったですが、あの時代を経て、今があるのだと思います。

◆職員として、20年以上真生会で働き続けられたのは、どのような理由があると思いますか。

成瀬 皆が患者さんに対して、「自分にできることは何か」と取り組んでいるからだだと思います。職員の向かう方向が一緒だから、ここまで来れたのではないのでしょうか。

寺井 当初は職員が少なかったので、医師が診療以外のさまざまな業務を行っていました。医師の支えも大きいと思います。

◆最後に、代表して真野先生に今後の抱負を聞きたいと思います。

真野 今でも当時から来られている患者さんがたくさんあり、温かいお声をかけてくださいます。初心忘れるべからずで、これまでの良い伝統を守りつつ、新たな挑戦をしていきたいと思っています。

◆今後どのように変化を遂げるのか、今回はぜひ50周年に集合したいですね。(終)



しんの えいじ
真野 鋭志
(医師・消化器センター長)



わたなべ えり
渡部 恵里
(看護師)



なるせ さとし
成瀬 智
(臨床検査技師・第1診療支援部長)



てらい えみこ
寺井 恵美子
(医事課職員)

【日本&富山の歴史】

●日本 ●富山

●日本初の屋根付き球場
東京ドーム開場
●北陸自動車道全線開通

●阪神・淡路大震災
●五箇山の合掌造り集落
世界文化遺産に登録される

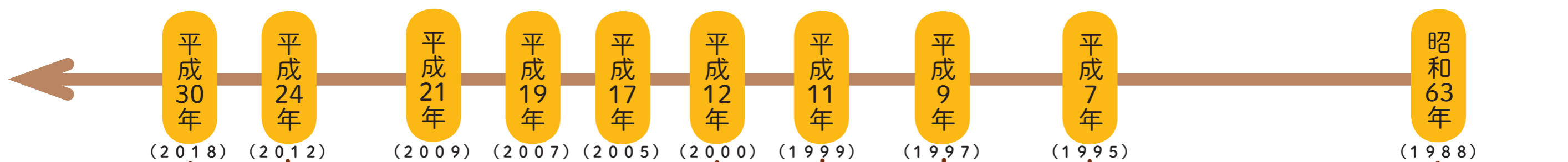
●イチロー選手が野手として
日本人初の大リーガーとなる
●中部国際空港が開港
●1市、3町、1村が合併し
射水市発足

●能登半島地震が発生、県内にも影響

●新型インフルエンザの流行

●新湊大橋開通

●平昌オリンピック開催



【真生会の歴史】

11月：真生会富山医院オープン



医院オープン時、4名のスタッフでスタートしました。



医院時代の受付。診療科は内科、小児科の2科のみでした。

1月：クリニック棟オープン



後列中央が中野一郎先生（4,5ページで紹介）



耳鼻咽喉科、整形外科、皮膚科など、診療科が9つに増えました。（※上記2枚の写真は『はいたっく』1996年8月1日号より）

～クリニック棟オープン後に患者さんからいただいたメッセージ（ご意見箱より）～

- ・とっても広くきれいですね。何より笑顔が光っていました。二度と行きたくないところが病院ですが、こんな病院ならまたお世話になりたいと思いました。
- ・真生会富山医院の各科の評判が大変よく耳に伝わってきます。どうか今後とも射水郡の住民の健康のためにがんばってください。
- ・設備もよく院内もきれいで医者も看護婦さんも受付の方もいい人ばかりです。あいさつを交わしてくれる先生たちの態度はとて素晴らしいです。これからもお世話になります。（※いずれも平成7年当時のご意見）

4月：真生会富山病院オープン



一般病床99床となり、わかば病棟、さくら病棟ができました。（右は内覧会の写真）



7月：新館棟上記念撮影



（番外編）医院時代の職員親睦会



（左）：職員旅行で当時流行していたラッツ&スターの曲を仮装して熱唱！
（右）：敷地内駐車場でバーベキュー

9月：南館オープン



2階に眼科の外来診察エリア、3階は眼科病棟としてあやめ病棟と手術室が設けられ、センター化しました。

8月：受付機稼働開始



これまで各科の受付で職員が行っていた外来受付を、同年5月の電子カルテ稼働に伴い、受付機で患者さんご自身に受付していただけるようになりました。

5月：南館増築工事完了



透析室の増床、眼科の拡張、心療内科の移転などが行われ、駐車場も整備されました。

6月：第1回健康セミナー開催



アイザック小杉文化ホールラポールで、第1回の健康セミナーが開催されました。地域の皆様が健康に暮らせるよう、多職種が連携し、これまでに6回行われています。

診療案内

診療科

内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、眼科、麻酔科、心療内科、精神科、神経内科、放射線科、泌尿器科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、緩和ケア内科、真生会デンタルクリニック（歯科）

受付・診療時間

【午前外来】平日・土曜日

受付 8:00 ~ 11:30

（各科窓口 8:30 ~ 診察 9:00 ~）

※午前のみ、7:30 ~ 整理券を配布

正面玄関の解錠時間は 7:30 です。

診療時間以外は、時間外出入口をご利用ください。

【昼外来】

アイセンター（眼科）のみ

受付 13:30 ~ 16:00（診察 14:00 ~）

※火曜日からの受付です。

小児科のみ

受付 15:00 ~ 17:00（診察 15:00 ~）

※火、木曜日からの受付です。

【夕方外来】月、水、金曜日のみ

受付 16:00 ~ 19:00

（各科窓口 16:30 ~ 診察 17:00 ~）

※皮膚科、小児科、耳鼻咽喉科の窓口
受付は 16:15 から、診察は 16:30 から行います。

【休診日】土曜日午後、日曜日、祝日

休診時間帯は、当番医師が待機しております。

敷地内全面禁煙を実施しています。



ご理解とご協力をお願いいたします。

創立30周年
記念行事

感謝の集い

9月29日(土)13時30分
オープニング 正面玄関付近

医療なりきり体験コーナー

医師 看護師 薬剤師 リハビリによる専門職の体験ができるよ。
参加費は無料です。 楽しく医療を体験してみてください。

お仕事体験

無料オープンキャンパス！



移動販売コーナー

・世界で2番目に美味しい
メロンパンアイス



・生絞りジュース



テント販売コーナー

ご近所の居酒屋“げん太”



・牛串

・カレー

・ローストビーフサンド



あの大道芸人が
当院にやってくるよ！

お子さまゲームコーナー



お子様が楽しめるゲームを集めました。
親子でお楽しみください！5ゲーム100円

地域の皆様に安心と満足の医療を



真生会富山病院
創立30周年

これまでもこれからも、皆様の笑顔と共に

企画メンバーより一言

おかげさまで 30 周年を迎えることができました。地域の皆様の支えがあったからこそ、深く感謝しております。これからも地域の皆様の健康をお手伝いさせていただくべく、日々精進いたします。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、お願いいたします。ささやかではございますが、このたび 30 周年記念”感謝の集い”を企画しました。地域の皆様、そして未来ある子供にいろいろ体験して欲しいと思い準備をすすめています。当日は病院にてお待ちしておりますので、ぜひお越しください。

企画担当 中央検査科 成瀬 智

編集後記

現在、勤続 20 年を達成したスタッフが 50 名以上在籍しています。30 周年記念特別号の発刊にあたって、真生会で長く働き続ける理由を尋ねてみました。共通していたのは”感謝”と”貢献”。「今までお世話になった方々にご恩返しを」との思いで業務にあたっています。職員自身が成長し、患者さんに貢献する。患者さんから感謝の言葉をいただくと、職員はやりがいを感じ、病院全体に患者さんと職員の笑顔があふれます。愛される真生会をめざして、この先も歩みを進めてまいります。